

歌志内市議会会議録

第1日目（令和4年10月24日）

（午前9時57分 開会）

諸 般 報 告

開 会 ・ 開 議 宣 告

○議長（川野敏夫君） おはようございます。

ただいまから、令和4年歌志内市議会第5回臨時会を開会いたします。

ただいま出席している議員は6名であります。

定足数を満たしておりますので、これより本日の会議を開きます。

会 議 録 署 名 議 員 の 指 名

○議長（川野敏夫君） 日程第1 会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、議長において、2番山崎瑞紀さん、7番女鹿聡さんを指名いたします。

会 期 の 決 定

○議長（川野敏夫君） 日程第2 会期の決定を議題といたします。

お諮りいたします。

今臨時会の会期を本日1日間としたいと思います。

これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議なしと認めます。

会期は本日1日間と決定いたしました。

○議長（川野敏夫君） 日程第3 諸般報告であります。

事務局長から報告をいたします。

中嶋議会事務局長。

○議会事務局長（中嶋孝君） 報告いたします。

この臨時会に付議されます議案は、市長より送付を受けた議案1件、報告1件であります。

次に、議長の報告でございますが、令和4年第3回定例会以降、昨日までの議会動向につきましては、本日、別紙配付しております諸般報告のとおりでありますので、御了承願います。

また、本会議に説明のため出席する者、本会議の事務に従事する者等につきましては、別記記載のとおりであります。

本日の議事日程については、別紙配付しております議事日程表のとおりであります。

次に、議員の出欠席の状況であります。本日は6名の出席であります。

本日、欠席されますのは山川議員であります。

以上で、報告を終わります。

○議長（川野敏夫君） 特段の発言はございますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） ないようでありますので、諸般報告を終わります。

報 告 第 1 2 号

○議長（川野敏夫君） 日程第4 報告第12号専決処分の承認を求めることについてを議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

平間副市長。

○副市長（平間靖人君） ー登壇ー

おはようございます。

専決処分の承認について、御報告いたします。

報告第12号専決処分の承認を求めることについて。

地方自治法第179条第1項の規定によって、別紙のとおり専決処分したので、同条第3項の規定により、これを報告し承認を求めらる。

専決処分の理由は、国より9月中旬以降に新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種が開始できるよう指示があったことから、議会を招集する時間的余裕がないと認め、専決処分したものでございます。

次ページをお開き願います。

専決処分書、地方自治法第179条第1項の規定により、議会を招集する時間的余裕がないと認められるので、別記のとおり専決処分する。

1、令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第5号）。

次ページをお開き願います。

令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第5号）。

令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第5号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ2,341万2,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ47億7,179万9,000円とする。2項は省略いたします。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳出について御説明いたしますので、5ページをお開き願います。

4款衛生費1項保健衛生費2目予防費1節

報酬、23万4,000円から12節委託料1,622万円までの増額補正は、新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種にかかる経費で、接種対象者は3回目のワクチン接種から3か月が経過した方で、接種の時期は4回目接種の有無などにより異なることとなりますが、既に担当課から個別に案内を発送しており、これらの接種業務に係る職員の報酬、手当、医師謝礼、通勤費、消耗品や郵便料、手数料等の事務費のほか、ワクチン接種、乗合タクシー、医師等派遣に係る委託料を計上しております。

続きまして、補正予算事項別明細書の歳入について御説明いたしますので、3ページにお戻り願います。

14款国庫支出金1項国庫負担金2目衛生費負担金1節新型コロナウイルスワクチン接種事業負担金、1,120万1,000円の増額補正は、歳出の衛生費に計上しております新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種における委託料に対するものであります。

同じく、2項国庫補助金3目衛生費補助金3節新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金、1,221万1,000円の増額補正は歳出の衛生費に計上した新型コロナウイルスオミクロン株対応ワクチンの接種に係る事務費などに対する補助金であります。

以上で、報告第12号専決処分の承認を求めることについての説明を終わりますので、よろしく願いいたします。

○議長（川野敏夫君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○7番（女鹿聡君） 今回、4回目のワクチンということになってはいるのですが、インフルエンザのワクチンとも多分、時期的にかなりかかってくるような感じになっていると思うのですが、その辺、受入先の市立病院として業務体制だとか、そういったところにいろいろ多分、重複してやるのが

増えてくるのかなと思うのですけれども、その辺、働いている方々がトラブルにならないようにして、すんなりワクチンの接種をしていただきたいと思うのですけれども、その辺のやり取りというのは、どういうふうなのか、ちょっと聞いておきたいと思います。

○議長（川野敏夫君） 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長（山崎亨君） 時期的にインフルエンザの接種と被るという話になります。

ただ、ワクチン的には同時に接種してもいいよという話もあるので、間違いがあっては困りますので、市立病院でインフルエンザのワクチン接種をする日には、コロナワクチンの接種は行わないというような形で日にち分けをした中で実施していくと。

どちらかというと、土日の集団接種を中心にコロナワクチンの接種をするというような形で進めております。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 質疑なしと認め、質疑を終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、報告第12号について採決をいたします。

この件について、報告のとおり承認することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（川野敏夫君） 御異議なしと認めます。

したがって、報告第12号は報告のとおり承認されました。

議案第38号

○議長（川野敏夫君） 日程第5 議案第3

8号令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）を議題といたします。

提案理由の説明を求めます。

平間副市長。

○副市長（平間靖人君） ー登壇ー

議案第38号の補正予算につきまして、御提案申し上げます。

議案第38号令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）。

令和4年度歌志内市一般会計補正予算（第6号）は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）。

第1条、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8,294万5,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ48億5,474万4,000円とする。2項は省略いたします。

以上、議案第38号の補正予算につきまして御提案申し上げます。

なお、事項別明細書につきましては、企画財政課長から御説明いたしますので、よろしくお願いいたします。

○議長（川野敏夫君） 東所企画財政課長。

○企画財政課長（東所勝則君） おはようございます。

それでは、私から一般会計補正予算事項別明細書の歳出について、御説明いたしますので、5ページををお開き願います。

3款民生費1項社会福祉費1目社会福祉総務費3節職員手当等、7万8,000円から18節負担金補助及び交付金、4,750万円までの増額補正は、このところの電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等に対する給付金を支給するもので、関係事務費及び給付金に掛かる予算を計上しておりますが、臨時会資料の1ページに事業の概要を整理しておりますので、併せて御覧願います。

この度の給付金は、国の補助金を財源として、対象1世帯当たり5万円を給付するもので、令和4年9月30日において、本市の住

民基本台帳に登録されている方で、住民税非課税世帯及び住民税非課税世帯と同様の事情にあると認められる家計急変世帯を対象とするものですが、当該事業の趣旨に鑑み地方創生臨時交付金を活用し、市の独自事業として住民税均等割のみ課税世帯を対象に追加し、12月下旬から給付を開始する予定としております。

次に、国の臨時交付金を活用して実施する市独自の新型コロナウイルス感染症対策事業についてであります。同じく臨時会資料の1ページに内容を整理しておりますので、併せて御覧願います。

7款1項とも商工費1目商工業振興費、3,297万円の増額補正は、地方創生臨時交付金を活用し、物価等高騰対策事業を実施するものであります。

初めに、商工業振興一般経費210万円の増額補正は、中小企業燃油価格高騰対策事業として、事務所・店舗等を有する市内事業者を対象として、1事業者当たり3万円を交付するもので、新型コロナウイルス感染症対策事業3,087万円の増額補正は、市民向けの物価等高騰対策として、市民1人当たり1万円分の物価等高騰対策地域商品券を発行するものであります。

なお、この物価等高騰対策地域商品券は、全市民を対象としており、住民税非課税世帯等への給付金給付世帯に対しても発行いたします。

次に、4目観光費600万円の増額補正は、新型コロナウイルス感染症対策事業として、うたしないに泊まって割り事業として、宿泊料の一部を補助するもので、市内宿泊施設の宿泊料について1泊につき3,000円を上限として、2分の1を助成するものであります。

7ページにまいりまして、15款1項1目とも予備費450万2,000円の減額補正は、歳入歳出予算の調整でございます。

続きまして、事項別明細書の歳入について、御説明いたしますので、3ページにお戻

り願います。

14款国庫支出金2項国庫補助金1目総務費補助金3節新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、1,951万1,000円の増額補正は、歳出の各関係事業に計上した価格高騰対策及び感染症対策事業の財源とするものであります。

次に、2目民生費補助金7節電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金給付事業費補助金、4,343万4,000円の増額補正は、歳出の民生費に計上した給付金事業のうち、国の基準分に対する補助金であります。

19款1項1目とも繰越金1節前年度繰越金2,000万円の増額補正は、前年度繰越金の一部を予算計上するものでございます。

以上で、議案第38号の補正予算事項別明細についての御説明を終わりますので、よろしくお願いいたします。

○議長（川野敏夫君） これより、質疑に入ります。

質疑ありませんか。

女鹿聡さん。

○7番（女鹿聡君） 今回の補正予算は、かなり住民の方々に還元していただける形の補正となっておりますので、ありがたいと思います。

一つ目、給付金の均等割世帯に支給ということで、市独自でやっていただけるという形で、今回から打ち出してくれております。9月議会で私が一般質問した中で、均等割世帯にも光を当ててくださいという話をさせていただいて、早急に手を打っていただいた形なのかなと思っておるのですけれども、この今回、初めて多分やるので、こういった方々の世帯にどういうふうな周知をするのかを聞いておきたいと思います。

二つ目なのですけれども、商工振興費として3万円を1事業者当りに配りますということなのですけれども、これは事業者にさっきの均等割世帯と同じなのですけれども、周知というのは、どういうふうな形で周知をして手続きを行うのか、聞いておきたいと思

ます。

最後なのですけれども、市民に1万円というところで商品券になっております。これは、何回か今までやった事業と似ているかなと思うのですけれども、これは今までと同じような状況というか、手続きの方法で進めていくのか、それをちょっと聞いておきたいと思えます。

○議長（川野敏夫君） 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長（山崎亨君） 私からは、均等割世帯への周知の方法ということでございますけれども、周知に当たりましては、対象者の抽出というようなことから始まるのですけれども、確認書による申請というようなことが中心になっていまして、まず対象と思われる世帯の方への御案内ということになって、そこから御本人たちで申請を上げていただくというような方法で行っていきたくて考えております。

○議長（川野敏夫君） 佐渡産業課長。

○産業課長（佐渡憲博君） 事業者への周知でございますが、これは従来と同じような形で商工会議所を通じまして周知するとともに、市民課のほうからも周知を徹底したいというふうに考えております。

それと1万円の商品券の件ですが、これにつきましては、全市民対象となりますので、こちらのほうで対象者の方に、こちらから郵送する形でありますので、手続き等はございません。

○議長（川野敏夫君） 女鹿聡さん。

○7番（女鹿聡君） 均等割世帯のほうなのですけれども、手続きは周知を何らかの案内を送ってから本人その世帯に手続きを行っていただくという形なのですけれども、多分初めてのことなので、「ん」と思う方もいると思うのですよね。5万円支給になりますので手続きしてくださいという多分、内容のものを配るのだと思うのですけれども、その辺、ちゃんと分かりやすくしていただいて、トラブルのないようにしていただきたいと思えますけれども、もう一回その辺、答弁いただ

いておきたいと思えます。

商品券の1万円なのですけれども、今までと変わらずということで郵送してポストに入ってくるという形になると思うのですけれども、住民税非課税世帯の方々の5万円12月の下旬からということになっているので、もう少しその前に1万円が届くと市民の方々もありがたいかなと思うのですけれども、その辺はどういうふうに考えられているのか聞きたいと思えます。

○議長（川野敏夫君） 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長（山崎亨君） 均等割世帯への周知というもの、住民税非課税世帯も同じなのですけれども、できるだけ混乱のないように丁寧な案内というものをしながら進めてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願ひします。

○議長（川野敏夫君） 佐渡産業課長。

○産業課長（佐渡憲博君） 1万円の商品券につきましては、この後、補正予算が可決いただきましたら早速、商品券の印刷等の作業に入ります。

そういった印刷からその商品券の完成に至るまで、約2週間から3週間ぐらいかかるようなスケジュールを予測しているのですが、それからいろいろ封筒詰めですとか、郵便局への引き渡し、そういったスケジュール等を考えますと、どうしても11月下旬頃から末頃の発送になる予定でございます。

従いまして、皆様のお手元に届くのは12月から使える形になるのかなというふうに今のところ、そういったスケジュールの予定をしています。

○議長（川野敏夫君） 女鹿聡さん。

○7番（女鹿聡君） 分かりました。最後の均等割世帯の件で、これは思い切ってやっていただけるということになりました。市長にちょっと聞いておきたいのですけれども、今後、いろいろな形で住民税非課税世帯に対してということで、国だとかもいろいろ多分、手を打ってくるものが出てくると思えますけれども、それに対してやはり一緒にこの均等

割世帯にも光を当てるということを今後も必要になってくると思うのですけれども、その辺、今回を皮切りにどういうふうにも今後もしていかないと駄目ではないかなと、私のほうは思うのですけれども、その辺、市長の考えを聞いて終わりたいと思います。

○議長（川野敏夫君） 柴田市長。

○市長（柴田一孔君） 均等割世帯への給付ということでございますが、この度、9月の議会を踏まえて議員の皆様方から均等割世帯への支援、またいろいろな部分での調整支援の要望等について、意見を出されまして、この度、均等割世帯についても5万円の支給ということになったわけでございます。

今、貴重な御意見をいただきました。今後、引き続き商品券とかそういった部分も含めて、それぞれ商工会議所や各種団体、議員の皆様からも御意見をいただく、そんな中で状況を見極めながら、市民生活の安全安心な生活に帰することができるように、いろいろ検討していきたいというふうに思っております。

○議長（川野敏夫君） ほかに質疑ありませんか。

能登直樹さん。

○1番（能登直樹君） 今、女鹿議員のほうからは、住民税均等割世帯のことについてお伺いしておりますけれども、②のほうで家計急変世帯、このことについてお聞きしたいと思っております。

基本的に政府は、そういう家計急変世帯が支給を受けようとする場合は、申請する時点で居住する住所の市町に対して、郵送または窓口へ持参するか送付するということになっていると思っております。

その際には、本人確認書等々いろいろな書類が必要かなと思っております。これを則りまして本市としても、この事務作業をこれからやっていかれるのかなと思っておりますけれども、今回4,250万の予算が計上されておりますけれども、このうち住民税非課税世帯とその家計急変世帯の数が分かれば教えていた

だきたいのが1件。

あと、本給付金についても経済対策の趣旨を踏まえて、可能な限り早急に支給されるのが望ましいという政府の考えもあります。

今、女鹿議員のほうからありましたとおり、早急にしていただけるというお話なのですけれども、こちらのほうも併せて早急にしていただきと思っておりますが、この2点についてお伺いしたいと思います。

○議長（川野敏夫君） 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長（山崎亨君） このたびの給付金の対象者、住民税非課税世帯、家計急変世帯の分の対象の予定の人数ということだと思っておりますけれども、家計急変世帯ははっきり言って現在、何名いるというような形での状況が分からない状況になります。住民税非課税世帯と家計急変世帯も含めて、この度、予算要求を出させていただいているのが850件分という形で捉えていただければと思います。

ちなみに均等割世帯の部分は100件、という形での予算を計上させていただいております。

以上です。

○議長（川野敏夫君） 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長（山崎亨君） できるだけ早い時期に送付できるように進めてまいりたいと思っておりますけれども、まず、この度の予算が通ってからの話ですけれども、システムの改修等の時間が必要になってきます。そこから進めていくのですけれども、対象者の抽出と御本人から申請を受け付けて、そして支給決定。そして支給という形になると、その支給の事務手続きも含めると、12月下旬を目途というような形で考えております。

ただ進めていく中で、もう少し早い時期に例えば12月半ばで支給できないかという部分が出てきたら、そこで支給できるように、できる限り早く進めていきたいというふうに思っております。

以上です。

○保健福祉課長（山崎亨君） 能登直樹さ

ん。

○1番(能登直樹君) 数的なものは抑えていないけれども、一応は850万の予算は今回、計上するというので理解しました。家計急変世帯というのは、これから、どんどんその申請が上がってくるかなと思います。

この家計急変世帯、たしか明年の4月いっぱいぐらいだったかなと思うのですが、それは保健福祉課のほうで、抑えていらっしゃるかどうかお聞きしたいと思います。

○議長(川野敏夫君) 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長(山崎亨君) これまで、実施してきた非課税世帯等の給付の中で、家計急変世帯に該当する方の申請を何件かは受け付けて実施してきました。

ただ、現在、今ほとんどないですけれども、本当に何件か、一桁の数字だったと思います。

以上です。

○議長(川野敏夫君) ほかに質疑ありませんか。

本田加津子さん。

○6番(本田加津子君) 5万円の給付開始時期について、今ちょっと能登議員のほうの質問の中、お答え聞いたのですけれども、やはり皆さん、いつもらえるのだろうかすごく聞かれるのですよね。それで今、支給までの流れをそれをいろいろ伺いました。

全部ここ①②③の該当者の方、①②③という方いらっしゃるのですけれども、この方が全部出そろうてというか、それから支給するのか、①の方はあらかじめ大体分かっているのか、①の方はあらかじめ大体分かっているのか、そういう柔軟な対応はできないのか伺います。

あと、市民1人あたりに配る商品券、この券の種類なのですけれども、これからデザインとか、あらかじめもう決まっているのかなと思うのですけれども、今プレミアム付き商品券出していますよね。あれとまた同じようなデザインなのか、色を変えるのか、その辺は

何かお考えあれば教えてください。

○議長(川野敏夫君) 山崎保健福祉課長。

○保健福祉課長(山崎亨君) 住民税非課税世帯でそれぞれ対象者あるのですけれども、まず住民税非課税世帯の方ですけれども、申請不要な形でできる形、プッシュ型とかと言っているのですけれども、そういう方たちの分をまず把握した中で、進めていくことになるかと思っております。

いずれにしても、できるだけ早い時期に御案内できるような方法は取ってまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

○議長(川野敏夫君) 佐渡産業課長。

○産業課長(佐渡憲博君) 1万円の商品券につきましては、当然、プレミアム商品券と今回の商品券、色分けもしますし、タイトルを物価等高騰対策地域商品券という長いタイトルなのですが、そういったことで表示しております。プレミアム商品券と分けをしていることということでございます。

○議長(川野敏夫君) ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(川野敏夫君) 質疑なしと認め、質疑を終わります。

これより、討論に入ります。

討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(川野敏夫君) 討論なしと認め、討論を終わります。

これより、議案第38号について採決をいたします。

ただいまの議案については、原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長(川野敏夫君) 御異議なしと認めます。

したがって、議案第38号は原案のとおり、可決されました。

閉 会 宣 告

○議長（川野敏夫君） 以上で、本日の日程は全部終わりました。

これもちまして、令和4年歌志内市議会第5回臨時会を閉会いたします。

御苦労さまでした。

（午前10時31分 閉会）

上記会議の顛末を記録し、その相違ないことを証するため、
ここに署名する。

歌志内市議会議長 川 野 敏 夫

署名議員 山 崎 瑞 紀

署名議員 女 鹿 聡